

# 学校だより

# 神石高原町立三和小学校

# かがやく三和っ子

令和8年 1月14日

〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小畠 1370番地  
TEL 0847-85-2816 FAX 0847-85-2601  
URL <http://www.jinsekigun.jp/school/sanwasho/>

## 本年もよろしく申し上げます



新年明けましておめでとうございます。子供たちは、寒さに負けず元気に3学期の学校生活をスタートさせています。「一年の計は元旦にあり」と言うように新しい年への目標（または3学期の目標）を児童一人ひとりに立たせ、3学期をスタートさせました。子供たちの力をしっかり伸ばす一年にしたいと思います。また、子供たちの健やかな心身の育成を目指して職員一同尽力して参ります。本年も皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 化石発掘体験学習(6年生)

1月7日(水)に油木協働支援センター、にしかわ化石館、三和協働支援センターのご協力をいただき、6年生20名が、理科の「大地のつくりと変化」の学習の発展として、実際に町内の地層の露頭から採掘した岩石を使って、化石発掘体験を行いました。

6年生児童たちは、ハンマーとたがねを使って岩石を割って、クリーニングし、5億年前の古生代や2億年前の中生代の二枚貝や巻貝の化石を見つけ出すことができました。

また、にしかわ化石館に展示してある本物の「アンモナイト」や「ナウマンゾウの歯」の化石などを持って来ていただき、実際に手で持ち上げたりする大変貴重な体験も行いました。太古の生き物に触れる学びを通して、この神石高原町が大昔は海の底だったという自然の営みのダイナミックさも感じることができました。



## 2月 行事 予定



|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 2日(月)  | 学級費自動振り替え日              |
| 3日(火)  | 令和8年度三和小入学予定児童入学説明会     |
| 6日(金)  | 漢字検定(第3回)               |
| 13日(金) | 算数検定(第2回)               |
| 20日(金) | 道徳参観日・学級懇談・次年度PTA学年役員選出 |

# 校長室より

「1月になりました」



新しい年になりました。何でもそうですが「新しい」は、ウキウキとした気持ちで物事に臨むことが出来ます。子供たちも、保護者、地域の皆様方も、ウキウキとした気持ちで新しい年を迎えられたと思います。

さて、今年は午年です。午年は「躍動」「成功」を象徴し、情熱や勢いが高まる年とされています。三和小学校の子供たちも、一層「情熱や勢い」が増し、より躍動して活躍することで、これまで努力してきたことが実るよう、教職員一丸となって、子供たちと共に頑張っていきたいと思っています。これまでと変わらぬご支援どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、これまで三和小学校では、学習面、生活面の基礎となる事柄をがまん強く、ねばり強く指導しています。子供たちは、それに応えて努力を続けています。その一つとして、「ぐんぐんタイム」があります。「ぐんぐんタイム」は「先生とぐんぐん」と「自分でぐんぐん」に分かれています。「先生とぐんぐん」では、宿題で自分が苦手なところを先生と一緒に（先生から指導しに行ったり、子供が質問したりして）学んでいく時間になっています。苦手なところを克服しようという子供たちの顔は、真剣で先生がいる間に問題を解けるようになろうという気迫が伝わってくるのがよくあります。「自分でぐんぐん」は、先生がいない状態での学習です。「先生とぐんぐん」を通して付けた力を「自分でぐんぐん」の時間で伸ばすために宿題の続きに取り組んだり、帰宅してからでは遊べない友達と一緒に遊んで「人間関係」を深めたりしています。どちらも大切な学びです。バランスよく両方に取り組めるよう学校でも声掛けをしています。ご家庭においても、子供たちに声掛けをしいていただいてバランスの良い学びとなるようご協力いただけると、さらに子供たちが健やかに成長してくれると思います。

また、学校では、たとえ宿題が学校で終わっても、家庭で「自分で学ぶこと」を勧めています。「学ぶこと」は、机の前だけであるものではありません。学んだことを実生活の中で関連付けて生かしたり、実生活の中で得たことを学習の中で関連付けて理解をしたりすることも「学ぶこと」です。「関連付ける」ためには、多くの経験が必要です。ですから、「学ぶこと」は、机の前だけでなく、実際の経験を積ませることも大切です。（もちろん、机の前の学習内容が基礎になるので、学生といわれる「学ぶこと」を保証されている期間は、机の前の学習を大切にしてほしいと願っています。）

プロのスポーツ選手は、基礎練習を欠かしません。これは、できて当たり前と思うことを、繰り返し確かめながら行い精度を高めていくことの大切さを物語っています。プロのスポーツ選手であっても、時には、がまん強く。時には、粘り強くしていることでしょう。三和小学校の子供たちも、「がまん強く」「ねばり強く」頑張れるようになってきています。「がまん強く」「ねばり強く」頑張れるのは、集団生活として「協働して」みんなで頑張っているからです。「がまん強く」「ねばり強く」頑張るのは一人ではつらいでしょう。子供たちには、「みんながいるから頑張れる良さ」を学校生活を通して感じてもらっています。

三和小では、三和小ブランドという子どもたちに「こうなってほしい姿」を5つ目標に掲げています。ご家庭の皆さん、地域の皆さんが大切に育てられてきた子供たちは「がまん強く」「ねばり強く」「みんなと協働して」していくことで「こうなってほしい姿」になってきています。これからも、教職員、子供たちみんなで「がまん強く」「ねばり強く」「みんなと協働して」学校生活を送り、さらなるお子様のよりよい変容を促していきます。

学校は、ご家庭、地域の教育活動と連続、連携した教育活動を基にして、子供たちが社会で生きていくための力を付けていきます。教職員一同、6年間を見通して、心豊かな子供たちを育てていきたいと思っています。今後とも、学校の取組へのご理解、ご協力、応援をよろしくお願いいたします。

神石高原町立三和小学校 校長 前田 静樹

三和小ブランド（三和小の児童は） ・あいさつで周りを元気にします ・地域のことを考えて行動できます

・困っている人のために行動できます ・みんなで協力して問題を解決します ・「感謝」の気持ちを「やる気」につなげます